

## 第9回 フレッシュジュニア手取川大会 大会要綱

野々市・能美・白山 市学童野球連盟

### 【大会運営細則】

- ① フレッシュジュニア手取川の大会は4年生以下で行われる大会である。
- ② 本大会は、特別に5・6年生の女子の大会選手登録を認める。(但しピッチャー・キャッチャーを除く)
- ③ 試合回数は5回とし、1時間10分を過ぎて新しいイニングには入らない。
- ④ 塁間及び本投間は次の通りとする。 塁間 21m 本投間 14m。
- ⑤ 低学年はボークを取らず注意とする。ボークによって攻撃側が不利な判定(アウト)を受けた場合には不利な判定を取り除く。走者はそのまま塁に留め置く。又、ボークと盗塁が同時に起こった場合は盗塁を優先し次塁へ進ませる。守備側監督に説明、注意し試合を続行する。
- ⑥ 本大会においては、振り逃げは適用しない。
- ⑦ 投手の投球回数は1日最長5回とする。

### 【予選リーグについて】

- ① グループリーグ予選は、各グループリーグの責任チームと協議し、指定の期間中にリーグ予選を行う。
- ② 各グループリーグ予選で順位を決定し1位チームのみが、決勝トーナメントに進出する。
- ③ 審判については、各チームより審判を要請し各会場にて両チームで協議して決定する。
- ④ グループリーグ予選の試合会場は、各グループリーグの責任チーム地で行うのが望ましい。
- ⑤ グループリーグ予選において、5回終了時同点の場合は、試合終了時に出場していた両チームメンバーが本塁を挟んで向かい合い、整列して抽選を行う。  
審判は、「○」印及び「×」印の抽選用紙をそれぞれ9枚ずつ混ぜ合わせ、先攻チームより交互に1枚ずつ選ばせる。選び終わったら集計し「○」印の多い方を勝ちとする。  
※ 集計は選手の前では行わない。(抽選用紙「○」「×」は、各試合会場にて用意してもらう。)
- ⑥ リーグにおける勝敗数が同じ場合の順位  
○総失点数の少ない方を優位とする。  
  
○総失点数が同じ場合は、総得点数の多い方を優位とする。  
  
○それでも同じ場合は、抽選にて順位を決定する。
- ⑦ イニングで打者が一巡した場合は攻撃を終了し、攻守交替して次のイニングに移る。
- ⑧ 各グループ責任チームは予選試合結果を、期日までに主管支部事務局に報告する。

## 【決勝トーナメントについて】

- ① 各グループリーグ予選で1位になったチームによる決勝トーナメントを行う。
- ② 決勝トーナメントにおいて、5回終了時同点の場合は、特別ルールを1回のみ行い勝敗を決める。特別ルールで勝敗が決らない場合は、「○印」及び「×印」の抽選方式を行う。  
(特別ルールは野々市・能美・白山市学童野球連盟大会要綱に従い行う)
- ③ トーナメントの決勝戦においては、試合回数は5回で行う。 (時間制限有り)
- ④ 投球回数は1日5回までとする。但し、特別延長戦の直前のイニングを投げ切った投手に限り1日最大6イニングまで投げることができる。
- ⑤ 得点差によるコールドゲームは、3回終了時点で10点差又は4回終了時点で7点差とする。  
※ 決勝戦も同様に適用する。
- ⑥ トーナメントにおいては、打者一巡による攻守交替を適用しない。

## 【特別ルール（プレーオフ）】

両チームとも無死満塁とし、打順は前回の継続打順とする。この場合において、走者は当該打順直前の3人を3塁、2塁及び1塁に着かせるが、代走・代打を送ってもよい。投手・野手を交代させても何ら差し支えない。但し、一度試合に出場した選手は出場できない。  
(石川県軟式野球連盟学童部規則 適用)

- ☆ 2019年公認野球規則及び全日本軟式野球連盟「少年野球（③学童部）に関する事項」並びに開催年度ごとに主管する野々市・能美・白山市、各学童野球連盟大会要綱に準じて行う。